

## ■ 出会い・ふれあい・学び合い～みんなで育てる山田っ子～（山田小学校）

### 1 【活動の趣旨】

本校では、地元特産野菜や近くの漁港等の地域の良さ、地域の人とのつながりを生かして、山田の子たちを育てる活動に取り組んでいる。また、子どもと大人が学び合い・かかわり合い・喜びあい・認め合うことを積み重ねながら、学校と地域が連携し『地域協働合校事業』を進めている。



【ニゴロブナ稚魚の放流】

### 2 【特徴的な活動内容】

#### ○「ニゴロブナ稚魚の放流」

山田漁業共同組合の皆さんの協力のもと、びわ湖にニゴロブナを放流する活動を続けている。初めて魚に触れた子、初めて船からびわ湖を見た子もいる。この活動を通してびわ湖の環境を考えるきっかけとしたい。



【室戸台風殉難慰霊式】

#### ○「室戸台風殉難慰霊式」

本校では、今から84年前の室戸台風で大勢の被害者が出た。地域の方々とともに、全校で持ち寄った花で献花をし、歌い継がれた「学友の霊に捧げる歌」を歌う。今年度は被害にあわれた地域の方をインタビューした話を紹介し、亡くなられた方々を追悼するとともに、自然の偉大さについて考えさせるきっかけとしたい。

### 3 【実施に当たっての工夫】

校内の掲示板に『地域協働合校コーナー』を設け、それぞれの学年の取組について広め、見通しが持てるようにしている。また、地域のボランティアさんの顔写真を掲示し、様々な場面でお世話になっている地域の方々の顔と名前がわかるようにしている。



【地域協働合校コーナー】

### 4 【事業の成果】

掲示板を見つめる子どもの姿がよく見られる。「この人、知ってる！」「〇年になったらこんなことができる！」という歓声もあり、地域の方とのふれあいを楽しみにしている姿が見られた。また、歩いていける範囲に、漁港、ビニールハウスや農業センター、田畑などがあるので、様々な体験ができる環境にあり、地域の方々の協力のもと、ともにふれあいながら体験を進めている。そのため、アンケート等で「地域行事に参加している」と答える子どもが多い。

### 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

地域の高齢化が進み、恒例の学習も実施が困難なケースがでてきている。学習自体は続けたいので、地域コーディネーターを窓口の人材発掘を進めていきたい。